

## ★ 小・中学校入学式 歓迎 125人が新入学

桜の花が咲きほこり、春の陽気に恵まれた4月6日、町内の小・中学校16校で入学式が行われました。今年入学したのは小学校に97人、中学校に125人の計222人です。

蔵之元小学校（徳留光郎校長・児童数74人）では、在校生やPTA、地区民ら約100人が新1年生10人の入学を祝いました。緊張した面持ちの新入生は徳留校長と「命を大切にする」「あいさつをして、友達と仲良くする」「遊んだり、学んだりする元気な子になる」の3つの約束をした後、「蔵之元小学校は花がとてもきれいな学校です。早く学校になれて、友達をいっぱいつくってください」と在校生代表の鳥越信康君（6年生）から歓迎を受けました。



↑先輩児童のつくるアーチをくぐって入場する新入生

## ★ 獅子島招魂祭 戦争を忘れず二度と繰り返さない

初夏を感じさせる好天の中、獅子島の七郎山（393㍍）山頂で4月30日、恒例の招魂祭がありました。この招魂祭は戦争で亡くなった地元出身者の慰霊と、島民の親ぼくを兼ねて毎年4月に開かれています。

慰霊祭では、「戦後61年目を迎えても悲惨な戦争を忘れず二度と繰り返さない」と戦没者に誓い、平和を願いました。

続いて、相撲や芸能大会が行われ、熱戦や名演に拍手や歓声があき起こり、終日にぎわいをみせました。



↑戦没者慰霊碑に玉ぐしをささげる参列者

↓桃源郷の入所者へバレイショを手渡す丸橋部長



## ★ 桃源郷と給食センターにバレイショ寄贈 おいしくいただきます

鹿児島いずみ農協東事業所バレイショ部会青壮年部（丸橋松志部長）は3月8日、地元でとれた赤土バレイショを特別養護老人ホーム桃源郷と鷹巣学校給食センターにプレゼントしました。同施設に贈られたのは、部員が丹精込めて育てたニシユタカ140㍍（桃源郷に60㍍、給食センターに80㍍）。桃源郷では丸橋部長が「いつまでもお元気で」と声をかけながら代表者へ手渡すと、入所者は「肉じゃがが大好き。おいしくいただきます」と喜んでいました。